

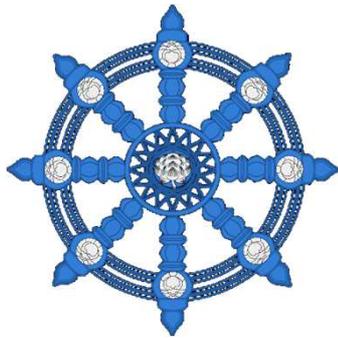
〒464-0007

名古屋市千種区竹越二丁目8番11号

真宗大谷派 香流山 **大應寺**

【納骨堂・合祀堂のある真宗寺院】

TEL(052) 711-3348 携帯電話 090-3458-1420

公式ホームページ <http://www.wa.commufa.jp/daiouzi/>

今年の夏、前半は雨が少なく猛暑、お盆以降後半は天気が不安定で蒸し暑く、日照時間が少ない、まるで冷夏のように気温の低めな日が多くなりました。そのせいか夏後半は各地で極端な豪雨が相次ぎ、地域によっては甚大な被害を被ったところもあります。年々気象現象が激化していく中、**お蔭様**でこの名古屋は大雨被害から免れております。

さて、この「お蔭様」という使い方に少々抵抗を感じるのは私だけでしょうか？名古屋の地形に対してお蔭様なのか、被災した地域に対してお蔭様なのか、一体何のおかげなのか、あまりにも漠然としており明確ではありません。近年の豪雨災害は地形や場所を選ばずどこでも起こり得る現象なのです。

本来、「お蔭様」とは、人物や目に見えない壮大な力(仏様)により力添えや恩恵を受けた時に使われる非常に尊い言葉であり、他と比較して使うべき言葉ではありません。「貧困の国の人と比べてお蔭様で私達は幸せだ」これは好ましくない使い方の例です。貧困の国の人是不幸で、豊かな国の人には幸せだなんて誰が決めたのでしょうか？

私達はいち無意識に他を見下したり、格付けをしまわっているのかもしれない。勝手な価値観が時には他を傷つけ侮辱しかねないことを忘れてはなりませんね。



《当院法要・行事のご案内》

★報恩講★



今年も報恩講を厳修する時節となりました。皆様、お誘い合わせの上、どうぞお集まり下さい。

報恩講とは、宗祖である親鸞聖人様が真宗を開き、尊い教えを今に伝え残して下さったことへの報恩感謝の法要で、毎年、御聖人の命日前後に厳修されます。(時節柄当院では一ヶ月繰り上げて厳修いたします)

有難い御法縁に感謝しつつ、お念仏の教えをいただきましょう。

尚、当日の用意の都合上、事前に出席の確認をさせていただいております。まことに恐縮ですが、お越しになる際は10月10日までにご連絡をお願い致します。

- 日時 10月25日 午前10時半より(正信偈真四句目下 五淘次第六首)
正午 おとき(食事)
午後 1時半より(伽陀・登高座、正信偈同朋奉讃)

○説教 勅使 英照 師